



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム RI.D2590ガバナー／高良 明 横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F/〒241-0821
TEL.045-365-3273/FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年5月24日 第2290回例会 VOL. 48 No. 41

- 司 会 副SAA 内田 敏
- 開会点鐘 会 長 青木 邦弘
- 齊 唱 それでこそロータリー
- 出席報告

会員数	30名	本日の出席数	25名
本日の出席率	92.59%	修正出席率	96.48%

■本日の欠席者

鈴木、北澤

■ビジター

渡辺 真多様 小野 照代様
 松尾 光高様 国井 真一様
 太細 彰様 南館 秀雄様 (岩沼 RC)

■皆出席者表彰



本山 雄三会員 1年

■会長報告

今日は岩沼からのお客様を迎え雰囲気の違いの例会になりました。岩沼の皆様有難うございます。

○クラブ関係

1) 5月17日例会終了後には大勢のお手伝い有難うございました。相鉄のゴミ集積場が一杯になり。40分で終了となりました。21日(日)に新事務所も一応片付けが出来ました。28日には最後の片付けを行います。奮っての参加をお願いします。

2) 今日は最後のクラブ協議会です。今までの活動報告をお願いします。

簡単ですが、会長報告とさせていただきます。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 6月6日(火)夜間移動例会点鐘午後6時
横浜本郷 RC と合同例会

場所 ホテル横浜キャメロットジャパン5階

日時 6月27日(火)夜間移動例会点鐘午後6時

場所 ホテルキャメロットジャパン6階桂川

○横浜あざみロータリークラブ

例会場変更のご案内

6月第1週目より下記のように変更致します。

日時 6月7日(水)点鐘12時30分

場所 あざみ野ローンテニスクラブ2階
クーポール

横浜市青葉区あざみ野2-19-1

TEL 045-901-9011

■次年度幹事より

田川 富男

各役員、委員長さんは、次回の例会5/31までに計画書の提出をお願い致します。

■グループ研修報告 新川 尚

日時 5月17日(水)午後6時30分

場所 ゆうや

参加者 倉本、大川 新川(敬称略)

テーマ 「親睦」

シカゴロータリークラブの設立当初には奉仕氏の概念はなく、事業の繁栄と親睦を目的にして設立されています。「定款第2条目的」には、はじめ2項目しかありません。

- 1) 会員の事業上の利益の推進
 - 2) 通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の特に必要と思われる事項の推進
- ですから、親睦はロータリーの初めからありました。

1923-24年RI会長、ガイ・ガンディカー氏は文献の中で親睦についてこう語っています。「良き親睦はけしてロータリーのすべてではないのであって、良き親睦はロータリーという苗木が根を下ろし、成長するための土壌をなしているのである。」そして、この良き親睦を形成するものとして7つ上げています。

1. 真心のこもった握手
2. 姓ではなく、名前で呼び合うこと
3. 歌の合唱を行うこと
4. ある種の、ウィットに富んだ行動
5. 各会員相互間に行われるその他の親切
6. 議長、同僚たる会員および招待者に対する礼儀正しい行動
7. 老練な企業経営者にして初めてできる、紳士の振る舞いと、思慮深さ

この7つが、親密を形成するものと言っています。最も重要なことは、クラブ内の互惠取引や、生存地域内の利害関係によって自由な発言が出来なくなることは、「礼儀正しい行動」や「紳士の振る舞いよ思慮深さ」に反しますからクラブ内の「自由な発言」を推進・保持するためには、クラブに不文律が必要になります。この不文律、暗黙の了解事項となっている決まりが、知己と友情から始まった握手、ウィット、礼儀正しい行動、紳士の振る舞い、思慮深さと言葉を代えて説明されてきたと思います。

ロータリアンには、卓越した事業の専門家がいますし、豊かな人生経験をもった人や、高い倫理感を持った方々がいます。確かに、ロータリークラブは人生勉強には事欠きません。ある時は師となり、ある時は生徒となって、クラブ例会を通して、人生を学んでいます。

それらを可能にする前提としては、ロータリアンがすべて平等でなければなりません。外の社会に出れば、元請けと下請けの関係であろうとも、大会社の社長と零細商店の旦那であろうとも、年寄、先輩、若者、どこで上下関係があろうとも、ロータリーの発想交換の場、例会では全く平等の立場でなくてはなりません。そのような雰囲気の中で行われる平等なテーブルでの会員相互の切磋琢磨によって、奉仕の心が育てられるとロータリーは言っているのではないのでしょうか。ロータリーではこの一連の行為・考えのことを「親睦」ないしは「純粹親睦」と呼んできました。または、この一連の平等な行為や、この様な考えから「純粹親睦」が生まれる、とも言ってきました。クラブの親睦はしばしば「親睦会」や「同好会」「飲み会」と混同されますが、これらはロータリーでいう「親睦」という手段ですから否定するものではありません。ロータリーで言う「親睦」は知己と友情を深めるために必要なテーブルがロータリーにはあるということです。*国際ロータリー第2780地区2012年地区協議会報告書より抜粋転載

■岩沼 RC 祝歓迎!



上: 例会場前にて

下: 相撲茶屋にて 元会員の川瀬恵津子さんも相撲観戦に参加されました!



■ニコニコ BOX (会員敬称略)

小野 照代様 (岩沼 RC) / 横浜旭 RC の皆様
こんにちは！今日の日を楽しみにして参りました。また、感動の日をありがとうございます。

渡辺 真多様 (岩沼 RC) / まず、良いお付き合いをさせて頂けることに心より感謝申し上げます。皆様とお会いできることを楽しみにしてまいりました。これからも宜しく願い致します。

南館 秀雄様 (岩沼 RC) / 本日はお世話になります。皆様の御篤志に感謝、感謝です。

松尾 光高様 (岩沼 RC) / 横浜旭クラブの皆様、本日はお世話になります。サンタの贈り物や創立 50 周年では遠路ご参加いただき感謝申し上げます。今後とも友好よろしく願い申し上げます。

国井 真一様 (岩沼 RC) / 横浜旭の皆様、今日再びお会いできて大変うれしく思っております。サンタの贈り物を頂きお礼に何うつもりでございました。こういう機会をつくって頂き有難うございます。

太細 彰様 (岩沼 RC) / 今日はお招き頂きありがとうございます。横浜旭 RC さんと交流できるのを楽しみにしております。

青木 邦弘 / 岩沼ご一行様、熱烈歓迎！稀勢里、今日から休場残念！

安藤 公一 / 岩沼ロータリークラブの皆様ようこそ。例会も相撲も楽しんでいって下さい。

新川 尚 / 岩沼ロータリークラブの皆様ようこそ！

増田嘉一郎 / 岩沼 RC の皆様、ようこそ。例会と相撲を楽しんでいって下さい。

滝澤 亮 / ①本日のクラブ協議会、各委員長の方よろしくお願いいたします。②岩沼 RC の皆様、よろしく願い致します。

斉藤 善孝 / ①妻への誕生日祝いを花をおりがとうございました。②岩沼ロータリークラブの皆様、ようこそ。

岡田 清七 / 岩沼 RC の皆さん、ようこそ。

吉原 則光 / ①例会は本年最終のクラブ協議会ですね。有終の美を飾れるよう期待します。②岩沼 RC の皆様、遠路大変有り難うございます。よろしく申し上げます。

市川 慎二 / ①岩沼 RC の皆様ようこそ。お久しぶりです。②本日のクラブ協議会、宜しく願い致します。

佐藤 利明 / 岩沼ロータリークラブの皆様ようこそ。

大川 伸一 / 岩沼 RC の皆様、ようこそいらっしゃいました。よろしく願いいたします。
内田 敏 / 岩沼ロータリークラブの皆様ようこそ。

本山 雄三 / ①皆出席の表彰、ありがとうございます。これからも続けられるといいんですが…②岩沼の皆様、遠くからようこそいらっしゃいました。

倉本 宏昭 / 岩沼 RC の皆さん、遠くまでいらしていただき、有難うございます。例会を楽しんで下さい。

田川 富男 / ①岩沼 RC の皆様、団体でようこそいらっしゃいました。②次年度の計画書の提出をお願いします。

関口 友宏 / 岩沼 RC の皆さん、ようこそ。

二宮麻理子 / 岩沼ロータリーの皆様、ようこそ！

五十嵐 正 / 岩沼の皆様、遠い所有り難うございます。

佐藤 真吾 / 岩沼ロータリークラブの皆様ようこそお越し下さいました。

後藤 英則 / 岩沼 RC の皆様、ようこそいらっしゃいました。

■クラブ協議会

○クラブ奉仕委員会 市川 慎二

7月13日にクラブ奉仕フォーラムにて委員会としての方針をお伝えし、各委員会より活動計画を発表していただきました。会員の皆様のご理解ご協力のもと、各委員会が活動計画書通りに進むよう積極的に取り組んで頂き一年間順調に推移しました。

○出席委員会 鈴木 茂之

皆様のご協力により今年度も例年どおり高い出席率を維持することが出来、有難うございます。会員同士の例会への出席の呼びかけは勿論のこと、各種行事への参加呼びかけも積極的に行ってまいりました。今年度も残すところあと1か月半ですが、引き続きご協力お願い致します。

○親睦委員会 田川 富男

多々ある委員会の中クラブの最終例会まで活動が続くのが親睦委員会と出席委員会であります。今期、親睦は歓迎会にはじまり、2回の情報集会、この指とまれ企画、クリスマス親睦会などの開催をさせていただきました。又、例会時にはスマイルレポートとしていろいろなお言葉や情報を頂きました。これも全て会員の協力で実行することが出来ました。

最終例会は夜間になりますが、全員参加を宜しくお願い致します。

○研修・広報&雑誌委員会 増田嘉一郎

1) 活動計画

クラブ活動計画書 20 頁記載のとおりである。

2) 研修

新会員研修は、2 人の対象会員に対し、平成 28 年 7 月 2 日に実施した。全会員を対象とするグループ研修も、7 月から毎月実施されている。翌月の月間テーマを課題として取り上げているが、昨年度から変わった月間テーマは、これを具体的プログラムとして展開するには難解なものも多く、苦戦している。まずは RI の考えている月間テーマの意義を考えて理解することができればと考えている。これまでに、各グループから提案のあった月間テーマを目的としたプロジェクトは、次のとおりである。

月	月間テーマ (翌月)	プロジェクト or プロジェクト実現のために
7	会員増強	各プログラムに参加した入会候補者への継続的アプローチ (週報の発送、各プログラムの案内等)
8	基本教育と識字率の向上	地域社会の力を高めるプロジェクトの支援
9	経済と地域社会の発展	青少年への職業講話 会員事業所でのインターシップ、見習い 引きこもりやニートを支援する NPO による卓話 児童を対象とするロータリアンによる特技や趣味の指導、あるいは、高齢者がこれらを児童に指導する場の提供
10	ロータリー財団	R 財団や米山奨学金への思いを込めた寄附
11	疾病予防と治療	RI の HP の活動例や現に海外で行われている活動の実態についてのさらなる理解と綿密な調査
12	職業奉仕	職場訪問、工場見学等 (安全と安心、特に消費者・顧客の安心の観点から)
1	平和と紛争予防	実際に活動を行っている NGO 等に卓話を依頼し、原因や要因、現状を理解する NGO への支援、協力 ロータリー平和フェロウシップ候補者の推薦
2	水と衛生	地域社会が、自力で水と衛生を改善し維持するために、衛生知識を根付かせる、住民らの意識が変わるまでの継続的資金支援プロジェクト
3	母子の健康	母子の健康のために活動している NGO を継続的に支援する NGO に卓話を依頼し、会員を啓蒙し支援の寄附を募る
4	青少年奉仕	今の子ども達の実体を知るために、塾の講師、学校の教師、警察官に卓話を依頼する 青少年の夜のアルバイトの実情を知るために、盛り場の夜を見学する
5	親睦	
6	クラブ奉仕	

3) 広報

広報について、HP を実行し維持管理している。地区大会において当クラブの活動紹介として、熊本地震の被災者の支援活動をパネルで展示した。

4) 雑誌

例会での「ロータリーの友」の記事紹介も毎月予定通り実施している。「ロータリーの友」への投稿は吉原会員が俳壇か柳壇に投稿している。クラブとしても、平成 29 年 2 月号に熊本地震被災者支援で行った「放置自転車の寄贈」について投稿した。

○会員増強・職業分類委員会 関口 友宏

新しいお仲間として、大川さん、兵藤さん(再入会)をお迎えしました。なおもう 1 名入会所(再入会)を受理しており、次年度からの入会を予定しています。

○会報委員会 吉原 則光

前回のクラブ協議会以後の第 2275 回から先週の 2289 回例会まで 14 回週報を発行しました。内容は卓話者の原稿、各委員会活動報告、事務局からの文書提出などで、滞りなく確実でした。会員各位のご協力の賜物と感謝いたします。ただ、前回のクラブ協議会委員長報告の提出が 80% 台であったのは大変残念です。今年度も本日(第 2290 回)を含めてあと 6 回となりました。年度当初の計画通り「読みやすい、分りやすい、親しみやすい」週報で例会の再現の目標達成がなされるように努めたいと思います。

○プログラム委員会 滝澤 亮

本年度前半期多少の変更もありましたが、会員の方々のご協力もあり無事終了する事が出来ました。8/10 には新会員のイニシエーションスピーチを急きょ取り込むことが出来ました。9/21 には兵藤会員のご推薦で地元のいそもと県議に卓話をお願い致しました。

後半期には 3/22 の予備日に横浜市大医学部教授でロータリー財団の留学生でもあった石川様の卓話を入れることができました。5/31 には熊本からロータリー会員による熊本地震 1 年間を越しての卓話をいただく予定です。会長以下会員皆様のご協力に感謝しております。

○社会奉仕委員会 二宮麻理子

1) 旭ふれあい区民まつりへの参加

10/16(日)に旭ふれあい区民祭りに参加し、熊本のミカンを販売しました。又、野外ステージでは「ちんどん芸能社」による演奏が行われました。当日は熊本りんどうロータリークラブより 6 名の会員の方がお越しになり販売のお手伝いをいたしました。ミカンは午

前中に完売しました。

2) 女性のためのがんセミナー

2/4(土)に二俣川サンハートにおいて「神奈川県立がんセンター」のご協力により開催しました。来場者は300名にはとどきませんでした。皆様のお声掛けのお陰で多くの方にお越しいただきました。

○職業奉仕委員会 滝澤 亮

前半は旭高校の都合により、卓話を実施することができずに地区の職業奉仕委員会に出席しただけでした。後半は、職場訪問として3/25午前10時～12時までタカナシ乳業横浜工場に行きまわりました。20人の定員に対し会員はもとより、ご家族、友人の方までおいでいただき約20人ちかく集まり、部屋いっぱいになり楽しい見学となりました。

有難うございました。

○青少年奉仕委員会 五十嵐 正

1) 新たなインターアクトクラブの提唱

現在青木会長の熱心な働きかけと旭高校校長の協力により、県立旭高校にて設立準備を進めております。新学期の慌ただしさを経て、そろそろクラブ入会希望者を交えた、クラブ説明会を行う予定となっております。実質的な設立、活動支援は次年度の青少年委員会が行うこととなりますが、次年度の青少年委員会のインターアクト担当委員は青木さんなので、安心して継承されていきます。

2) 青少年交換として、本年度は県立旭高校の塩麻里奈さんが台湾に行く予定です。面接の時からしっかりした目的を持った学生で、一年後の成長が楽しみです。それに伴い、次年度は交換学生の受け入れを行う予定となっております。

3) ガールスカウト102団の活動に対する支援・協力について

今年も小雨の中、4月8日クリーン作戦が実施されました。無垢な子ども達との活動は、私達にとっても何かしら癒される活動でありました。

4) 青少年奉仕月間での卓話について(5月)

今社会問題となっている「子どもの貧困」について、横浜市の担当職員の柿沼さんからお話を伺いました。先日の次年度青少年委員会でも大切なテーマとして挙げられ、継続的に活動をしていく事を確認しました。因みに次年度の「子どもの貧困」についての担当委員は私、五十嵐が担当いたします。皆様のご

指導ご助言をお願いします。

5) その他として、チャリティーコンサート部会に協力し、コンサート運営を支援を行いました。

○国際奉仕委員会 齊藤 善孝

今年度は国際奉仕活動の現状を認識して頂くため、2月に特定非営利活動法人「日本地雷処理する会」の理事長をお招きし、東南アジア・アフリカ地区の地雷や不発弾処理の現状についてお話をいただきました。

○ロータリー財団委員会 新川 尚

・年次基金 目標に対し、ほぼ達成することができました。

・恒久基金 目標に対し、滝澤会員の協力により達成することができました。

・ポリオプラス寄付目標一人\$50に対し、これからお願い致します。

・地区R財団100周年記念事業(マラソン大会) 佐藤事務局員が参加しました。

詳細は幹事年次報告内のロータリー財団寄付状況をご参照ください。ロータリー財団への皆様のご理解、ご協力に対し、感謝申し上げます。

○災害対策委員会 増田嘉一郎

1) 活動計画

クラブ活動計画書31頁記載のとおりである。

2) 熊本地震への支援活動

熊本地震への支援活動については、7月12日委員2名が現地益城町役訪れ、2720地区作守ガバナー補佐と、熊本りんどうロータリークラブの皆様のご案内を受け、懇談し、現地のニーズを調査した。その結果、現地の情報発信手段としての、「りんどう通信」発行をアドバイスし、その後の協議の結果、横浜市内の放置自転車102台を横浜市から払下げを受け、現地へ贈ることとなった。第1段として50台が10月17日に、第2段として残52台が11月15日に、羽沢駅から現地へ搬送された。瀬谷、岩沼、新横浜ロータリークラブから搬送費の支援を受け、区民祭りでは、42,052円の募金が募った。この結果は、「ロータリーの友」平成29年2月号に掲載されている。

3) 被災地物品の販売

10月16日の区民まつりで、熊本の被災状況の写真を展示し、社会奉仕委員会や熊本りんどうロータリークラブ会員と共に、熊本県益城町のみかんを販売した。みかんを販売したからといって、被災地にとって大した利益

となるもでもないとは思いますが、頑張っている益城町の人達の成果物であり、わずか1時間で256kgを完売した。地元旭区の人達の熊本へのエールが、みかんを味わい、さらに放置自転車運搬費への多額の募金に表れたものと理解している。

4) 被災地子ども支援

被災地子どもの支援として、恒例となっている宮城県岩沼市内の幼稚園・保育園へのクリスマスプレゼントの配布については、今年度は、12月9日と21日に実施した。当クラブからは6名のサンタが岩沼市を訪れた。子ども達の笑顔をみると、奉仕の喜びを感じさせてくれる。岩沼ロータリークラブは、この経過を「ロータリーの友」平成29年4月号に投稿した。

5) 被災地の状況を展示

1月8日のチャリティーコンサートの際には、6年目を迎える東日本大震災の状況を展示した。被災前から今日までの歩みを、目に見える形で展示した。そして、ここではこれ迄の募金で賄ってきた岩沼でのクリスマスプレゼントを喜ぶ子ども達の姿をも展示し、次年度の岩沼の子ども達へのクリスマスプレゼント代の募金も行った。

6) 災害復興支援フォーラム

3月1日の災害復興支援フォーラムは、前述の熊本支援の「放置自転車の寄贈」プロジェクトを受取り上げた。当クラブのプロジェクトとして、内外から高評価を得たが、諸々の課題も指摘された。さらに使い勝手のよいプロジェクトとするために、これら課題を協議した。その結果は、同日付週報に掲載しである。

7) 会員安否確認トライアル

当クラブは2年前岩沼ロータリークラブとの災害相互支援協定を締結したが、そこでの対象からはずれた当クラブ会員の安否確認についてのトライアルを今年度2回試みた。

1回目は8月31日午後1時に旭区を震源地とする震度6強の地震が発生したとの想定で行った。会員31名中19名からの連絡があり、成功といえよう。クラブ会からの連絡があるものと思って待っていた会員とか、メールの件名欄に安否感を記載するのに、本文に記載した会員とかもいたため、平成29年3月14日、東北大震災の日に合わせて、再度試み、ほぼ同数の会員から連絡があった。岩沼ロータリークラブからは、会員がクラブに愛を有してい

るのなら、クラブ相互間の安否確認、システムなど必要ないと言われたが、当クラブもクラブ愛に満ちた会員ばかりであったと、岩沼ロータリークラブに報告できる。なお、この2回の試みの結果、会員の緊急時連絡先リストも作成でき、災害時の活用に備えている。

8) 災害マニュアルの活用及び発刊

災害マニュアル「てんでんこ」は、岩沼ロータリークラブの50周年記念式典に集まった全国のロータリアンに配布され、区民まつりに集まった旭区の人達にも配布された。さらに今年度はその第2段として当クラブの安否確認システムを2回のトライアル結果を受けて印刷物にして配布する。

9) 2590 地区内災害発生に備えて

当初活動計画では予定されていなかったが、横浜市周辺での災害発生に備えて、2590地区としての対策の検討を始めた。京都福井の地区で基金を設けていることに慣い、当地区でも災害対策基金を設けるとの意見となったが、さらに、全国のRCから集まる義援金についての、配分組議、配分方法の検討を始めた。

東日本大震災、熊本地震において、全国から被災地区へ送られた義援金が、各クラブが必要とする時に、迅速に配分されていないという声を聞いたことから、早期に、適格に配分できるように、予め地区としての配分のために組織等を検討しておこうというものがある。資料収集から始めたが、極めて悩ましい問題を抱えており、次年度へ引き継いでいく。

10) 結語

最近は、災害は忘れないうちに来るといわれている。これからも次なる災害に備えて活動していく。

○チャリティーコンサート部会 新川 尚

今年度も無事、チャリティーコンサートを開催することができました。

開演に先立って震災の模様とクリスマスプレゼントを渡す様子をDVDにて上映し、チャリティーコンサートの意義をアピール出来たと思います。

皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。詳細は報告書並びに理事会へ提出した決算報告書をご参照ください。

■次週の卓話

6/7(水)「親睦」田川 富男会員

週報担当 吉原 則光